

ロボット宇宙飛行士 KIROBO 特別公開開催

～ HOYA サービス音声合成ソフト VoiceText を提供 ～

HOYA サービス株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役 大原幸男、以下 HOYA サービス）音声ソリューション事業部が技術協力として音声合成ソフト VoiceText を提供している“KIBO ROBOT PROJECT”より、「ロボット宇宙飛行士 KIROBO 特別公開」が行われることをお知らせします。

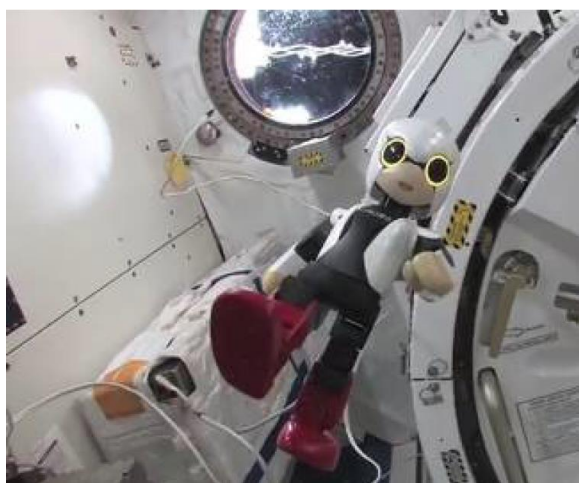
[KIBO ROBOT PROJECT]

“KIBO ROBOT PROJECT”とは、株式会社電通、東京大学先端科学技術研究センター、株式会社ロボ・ガレージ、トヨタ自動車株式会社による共同研究として、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力のもと進められているプロジェクトです。

HOYA サービスの音声合成ソフトウェア VoiceText は、同プロジェクトへの技術協力として提供されており、人とロボットのコミュニケーションとして重要な役割を担っている、ロボットの“声”として使われています。

<http://kibo- robo.jp/>

[ロボット宇宙飛行士 KIROBO 特別公開]



2013年の8月、KIROBO を乗せた宇宙ステーション補給機「こうのとり」4号機が鹿児島県の種子島宇宙センター打ち上げられて以来、ロボット宇宙飛行士 KIROBO は1年半にわたって国際宇宙ステーションに滞在しました。

宇宙では、若田光一 JAXA 宇宙飛行士と共に世界で初めてとなる“宇宙での人とロボットとの対話実験”に成功したことをはじめ、そのミッションが多くの注目を集めました。

2015年2月11日に地球に帰還した KIROBO は、同年3月27日には日本へ帰国、3月27日に日本科学未来館において帰国報告会を行いました。その会場では2つのギネス世界記録(R)、「地上から一番高い場所に対話をしたロボット」と「初めて宇宙に行った寄り添いロボット」にも認定されました。



このロボット宇宙飛行士 KIROBO が、世界に先駆けて、名古屋で特別公開されます。
また会場には「キロボの声を作ってみよう」コーナーが設置され、HOYA サービスの音声合成ソフトウェア VoiceText を実際に使って自由に言葉を作りだす体験もできます。

[開催概要]

■主催

KIROBO ROBOT PROJECT <http://kibo-robo.jp/>
名古屋市科学館 <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>

■日時

平成27年5月12日(火曜日)から5月17日(日曜日)
9時30分から17時まで(入場は16時30分まで)
※ただし5月15日(金曜日)は休館日です。

■場所

名古屋市科学館
生命館地下2階 サイエンスホール ホワイエ

■展示内容

ロボット宇宙飛行士 KIROBO
バックアップクルー MIRATA
開発にまつわるアイテム
国際宇宙ステーションで使ったアイテム
ギネス世界記録®認定証
KIROBOぬり絵コーナー
キロボの声を作ってみよう(音声合成ソフトの体験)
プロジェクト映像上映
※ただし、17日はトークイベント開催のため、KIROBOの展示は行いません。

■参加費

無料
※高校生以上の方は名古屋市科学館観覧料が必要です。



※ 記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
[2015.5.12]

[KIBO ROBOT PROJECT について]

KIBO ROBOT PROJECT 事務局(電通内)

URL : <http://kibo-robo.jp/>

Mail: kibo-robo@dentsu.co.jp

Tel : 03-6216-2540/8381

[本件に関するお問い合わせ先]

HOYA サービス株式会社 音声ソリューション事業部

TEL : 03-5913-2312

製品ホームページ : <http://voicetext.jp/>

公式 Facebook : <https://www.facebook.com/voicetext.jp>

公式 Twitter : <https://twitter.com/voicetextjp>

[会社概要]

会社名 : HOYA サービス株式会社

代表者 : 代表取締役大原幸男

所在地 : 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス 6F

資本金 : 4 億 5,000 万円

社員数 : 245 名

ロボット宇宙飛行士 KIROBO / 若田飛行士との対話を公開

～HOYA サービス音声合成ソフト VoiceText を提供～

HOYA サービス株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役大原幸男、以下 HOYA サービス）音声ソリューション事業部は、音声合成ソフト VoiceText を提供している共同研究プロジェクト“KIBO ROBOT PROJECT”より、同プロジェクトのロボット宇宙飛行士「KIROBO(キロボ)」が、若田光一 JAXA 宇宙飛行士との対話実験に成功した様子が公開されていることをお知らせします。

[ロボット宇宙飛行士 KIROBO、若田飛行士と対話]

“KIBO ROBOT PROJECT”とは、株式会社電通、東京大学先端科学技術研究センター、株式会社ロボ・ガレージ、トヨタ自動車株式会社による共同研究として、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の協力のもと進められているプロジェクトです。

同プロジェクトでは、ロボット宇宙飛行士「KIROBO(キロボ)」の開発と、国際宇宙ステーションにてキロボの発話実験などが進められてきましたが、このたび 2013 年 12 月 20 日（金）にはプロジェクト事務局より、キロボと若田光一 JAXA 宇宙飛行士が、世界で初めてとなる“宇宙での人とロボットとの対話実験”に成功した様子が公開されています。



HOYA サービスでは同プロジェクトへの技術協力として、音声合成ソフトウェア VoiceText を提供しており、このプロジェクトの要ともなります「人とロボットのコミュニケーション」に重要な役割を担うロボットの「声」に採用されています。

“KIBO ROBOT PROJECT”のサイト上にも、「KIROBO(キロボ)」が対話している動画多数が公開され、音声合成ソフトウェア VoiceText の声を存分に利用し、若田宇宙飛行士との対話実験を行っている様子を視聴することができます。

<http://kibo-robot.jp/>

[対話実験の一例]

（若田光一 JAXA 宇宙飛行士：W、キロボ：K）

W：キロボくんはどうやって宇宙にきたの？

K：種子島からコウノトリののってきたよ。

W：コウノトリののって宇宙まできたんだね。

K：鳥じゃなくて、ロケットのコウノトリだよ。

W：ひとりで来たなんてすごいね。

K：だって、ぼくロボットだもん。





※ 記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
[2014.01.20]

[スケジュール]

- 2012/11/29 プロジェクト発表とロボットの愛称募集
- 2013/06/26 「キロボ」とバックアップクルー「MIRATA（以降ミラタ）」が完成し、記者会見で初公開
- 2013/08/04 「キロボ」ISS 補給船「こうのとり」4号機に搭乗し、種子島からH2Bロケットにて打ち上げ
- 2013/08/10 「キロボ」がISSに到着
- 2013/08/21 「キロボ」がISSから第一声「2013年8月21日、未来の希望へ、ロボットの第一歩です。」
- 2013/11/07 若田光一 JAXA 宇宙飛行士、ロシアの宇宙船「ソユーズ」に乗りISSへ出発。翌8日に到着。
- 2013/12/06 **「キロボ」と若田飛行士、宇宙での人とロボットとの対話実験に成功**
- 2014/12 予定 「キロボ」地上へ帰還予定

[KIBO ROBOT PROJECT について]

KIBO ROBOT PROJECT 事務局(電通内)
URL : <http://kibo- robo.jp/>
Mail: kibo- robo@dentsu.co.jp
Tel : 03-6216-2540/8381

[本リリースに関するお問い合わせ先]

HOYA サービス株式会社 音声ソリューション事業部
TEL : 03-5913-2312
製品ホームページ : <http://voicetext.jp/>
公式 Facebook : <https://www.facebook.com/voicetext.jp>
公式 Twitter : <https://twitter.com/voicetextjp>

[会社概要]

会社名 : HOYA サービス株式会社
代表者 : 代表取締役大原幸男
所在地 : 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス 6F
資本金 : 4 億 5,000 万円
社員数 : 262 名

2013年07月01日

HOYAサービス株式会社

音声ソリューション事業部

「ロボット宇宙飛行士」へ技術協力

～ KIROBO の“声”を実現 ～

HOYA サービス株式会社（本社：東京都中野区 代表取締役大原幸男、以下 HOYA サービス）音声ソリューション事業部は、弊社が技術協力している共同研究プロジェクト“KIBO ROBOT PROJECT”の事務局より、同プロジェクトのロボット宇宙飛行士「KIROBO(キロボ)」の完成と宇宙への打ち上げ日程が発表されたことをご知らせします。

[KIBO ROBOT PROJECT]



“KIBO ROBOT PROJECT”とは、株式会社電通（以下、電通）、東京大学先端科学技術研究センター（以下、東大先端研）、株式会社ロボ・ガレージ（以下、ロボ・ガレージ）、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ自動車）による共同研究として、宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）の協力のもと進められているプロジェクトです。

ロボット宇宙飛行士「KIROBO（キロボ）」を宇宙へ打ち上げ、国際宇宙ステーション（以下、ISS）に滞在する若田光一 JAXA 宇宙飛行士と、世界で初めてとなる“

宇宙における人とロボットとの会話実験”を実施する予定です。

HOYA サービスの音声合成ソフトウェア VoiceText は、同プロジェクトへの技術協力として提供されており、人とロボットのコミュニケーションとして重要な役割を担っている、ロボットの“声”として使われています。

このたび 2013 年 6 月 26 日（水）には“KIBO ROBOT PROJECT”事務局からの発表により、ロボット宇宙飛行士「KIROBO（キロボ）」が打ち上げに必要な審査・実験をすべて通過し完成したことが報告されました。

また、今後の予定として、2013 年 8 月 4 日（日）午前 4 時 48 分頃、H-II B ロケット 4 号機に搭載される宇宙ステーション補給機「こうのとり」4 号機にて、種子島宇宙センターより打ち上げが決まった旨もあわせて発表されています。

<http://kibo-robot.jp/>

NHK・民放各社のニュースにも「KIROBO」と「MIRATA」は大きく取り上げられました。世界初の「宇宙における人とロボットとの会話実験」という夢のある舞台上、VoiceText の“声”がコミュニケーションツールとして使われます。



※ 記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

[2013.07.01]

“KIBO ROBOT PROJECT” ロボットの名前が発表されました



KIBO ROBOT PROJECT 事務局よりロボットの名前が発表されました。

2体のロボットは皆様の公募により、宇宙用ロボット KIROBO(キロボ)、地上用ロボット MIRATA(ミラタ)、と命名されました。

また、開発シーンの写真やムービーも多数公開され、テレビのニュース番組などにも取り上げられています。

[写真 左:KIROBO / 右:MIRATA]

KIBO ROBOT PROJECT のホームページもリニューアルされ、2013 夏の打ち上げに向けて開発が進んでいる様子が公開されています。

紹介ムービーでは、採用された VoiceText を使ってロボットが会話している様子も見ることが出来ます。

<http://kibo-robo.jp/>



紹介ムービーではロボットの声に音声合成が使われているという事にお気づきいただけましたでしょうか？ VoiceText による滑らかな発音が、自然な感覚でのコミュニケーションに役立っています。



※ 記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

[2013.03.19]

ヒト型ロボット 宇宙へ打ち上げ「KIBO ROBOT PROJECT」へ技術協力



株式会社電通(代表取締役社長執行役員:石井直)、東京大学先端科学技術研究センター(所長:中野義昭)、株式会社ロボ・ガレージ(代表取締役社長:高橋智隆)、トヨタ自動車株式会社(社長:豊田章男)が進めている、“KIBO ROBOT PROJECT”への技術協力として、HOYA サービスの音声合成ソフトウェア VoiceText の提供が決まりました。

“KIBO ROBOT PROJECT”では、ヒト型ロボットを国際宇宙ステーションに滞在させ、日本実験棟「きぼう」内において、宇宙飛行士とのコミュニケーションや地上に向けた情報発信などを行います。

このプロジェクトは独立行政法人宇宙航空研究開発機構 JAXA(理事長:立川敬二)による公募『「きぼう」を利用した社会課題解決テーマのフィジビリティスタディ提案』に採択され、2011年から1年以上にわたった検討から生まれたものです。

[KIBO ROBOT PROJECT × VoiceText]

ロボットを宇宙に送り、日本人初の国際宇宙ステーション船長となる若田光一宇宙飛行士とロボットが対面、世界で初めてとなる“宇宙における人とロボットとの対話実験”を実施、とワクワク感が満載の同プロジェクトですが、ロボットと人とのコミュニケーションを円滑に実現するためにはロボットが自由自在なセリフを喋ることができる音声合成の技術が必要です。

HOYA サービスの音声合成ソフトウェア VoiceText は日本語の音声合成としては屈指の高性能と、自然な感覚でのコミュニケーションを実現する滑らかな発話ができます。この大きな夢のあるプロジェクトをお手伝いさせていただく事にとっても適しています。

VoiceText の自然で明瞭な読み上げを実現した高い音質と、ロボット本体の制御プログラムと連携して機動的に音声を生成・変更できることから対話のできるインターフェイスとして最適なソフトウェアです。



※ 記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

[2013.01.11]